

**Q38 運動会の「低学年リレー」を1～3年生で行っているのですが、
バトンはどのような種類のバトンを使うとよいですか？**

A 運動会の低学年(1～3年)リレーでは、児童の学習上の経験や実態を踏まえ、バトンの種類を協議して決めていくことが大切です。また、低学年リレーと中学年リレーで分けることも1つの方法として考えられます。

理由

学習指導要領には、低学年でリングバトンを使用することは明記されておらず、「苦手な児童」への配慮としてリングバトンが紹介されています。また、低学年の運動の例示として、「折り返しリレー」が紹介されています。1・2年生での体育の学習では、折り返しリレーのため、棒バトンを使った経験がない児童も多いのではないのでしょうか。

一方、中学年では、「走りながら、タイミングよくバトンの受渡しをする」ことが明記されています。中学年の運動の例示として、「周回リレー」が紹介されています。3年生にとっては、体育の学習で棒バトンや周回リレーを経験しているため、運動会で棒バトンを使うことが学習の成果を発揮できるよい機会となります。

低学年用で紹介されているバトンの種類



プラ製リレーバトン



ソフトバトン（オレフィン系エラストマー）



リングバトン

それぞれのバトンのメリット・デメリット

	メリット	デメリット
プラ製リレーバトン	<ul style="list-style-type: none"> ① 3年生は、「走りながら、タイミングよくバトンの受渡しをすること」と指導要領に明記されており、体育学習の成果を発揮できる。 ② リードをするため、走者はバトンを受渡す際、急激にスピードを落とすことなく渡せる。バトンの受渡しでの接触を防ぐことができる。 ③ バトンの受渡しの練習が、リレーの練習としてのモチベーションとなる。1・2年生にとっては、中学年の走・跳の運動の学習につなげていく上で有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 1・2年生は、体育学習で使用していないと、棒バトンの扱いに慣れておらず、慣れるまでに時間がかかる。 ② リングバトンに比べると太くて、長さがあるため、他競技者との接触などで、落とす可能性がある。
ソフトバトン	<ul style="list-style-type: none"> ① やわらかい素材のため安全である。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ゴムに近い素材で弾力があるため、力を入れると曲がることもある。
リングバトン	<ul style="list-style-type: none"> ① 太くないため、低学年でも握りやすい。 ② 他のチームの走者との接触が少なく、走っている時に落とす可能性が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 3年生にとっては、体育学習でのバトンパスの成果を発揮することができない。 ② 地域によっては、幼稚園や保育園で棒バトンを使用しているところもある。